

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月15日更新

事務事業名		消防施設維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	15	防災対策の推進				所属課	交通防災課	担当者名	毛利 一生
	施策の柱	48	災害予防対策				所属班	交通防災班	(内線)	1243
予算科目		会計一般	款9	項1	目3	事業連番10009	根拠法令	消防法		
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・設置している消火栓、防火水槽、ホース格納庫、標識等の修繕、取替えを行う。 ・消防水利の設置及び区が設置した消防水利が市に移管されてからの管理。
【業務の流れ】	・消防団、消防署及び区等からの連絡において現地確認を行う。業者への発注、検査、支払い。
【主な予算費目】	・需用費
【意見や要望】	・土地所有者から、個人の宅地に設置している消防水利を撤去して欲しいとの要望が増えつつある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・老朽化している消火栓を修繕した。 【基準に達しなかった理由】当初予定していたより施設修繕件数が少なかった事による執行残の為。	・老朽化している防火水槽の修繕及び撤去工事を行ない、施設の維持管理に努め、有事に備える。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 修繕を行った消防施設の箇所数	箇所	・工事請負費の減 (H31年度は20 t 防火水槽2基を撤去)
⇒ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・消防水利	⇒ ア: 市内の消防水利数	箇所
	⇒ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・災害時に使用ができるよう、適正な状態を保つ。	⇒ ア: 修繕が必要となった消防施設の箇所数	箇所
	⇒ イ:	
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
・災害時に適切な状態を保つ為、防火水槽及び補水管・消火栓の修繕を行う。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア イ	箇所	13	13	5	7	5	5	5	5	
② 対象指標	ア イ	箇所	838	846	830	861	870	880	890	900	
③ 成果指標	ア イ	箇所	13	13	5	7	5	5	5	5	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	3,649	1,432	4,150	1,970	1,750	3,000	3,000	3,000
	(A) 事業費計	千円	3,649	1,432	4,150	1,970	1,750	3,000	3,000	3,000	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
			千円								
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	5	0	5	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	290	350	0	350	350	350	350	350
		(B)人件費計	千円	1,147	1,379	0	1,387	1,394	1,394	1,394	1,394
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,796	2,811	4,150	3,357	3,144	4,394	4,394	4,394	

事務事業名	消防施設維持管理事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 消火栓などの漏水が数か所あった。区要望による防火水槽撤去、地下式消火栓設置を実施した。今後も消防団の水利確認により、異常がないよう確認を行う。
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・消防団、消防署等と連携を密にし迅速に対応する。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・消防団、地域での維持管理を適切に行うことで、修繕の件数が減り、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・他に類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・修繕・工事についての経費であり、削減の余地はない
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・修繕などに対応するための事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・市内全域にわたる消防水利の修繕に要する経費であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・消防水利の維持管理は、法に基づく市の役割であり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

・消防団、消防署等が行った水利の修繕箇所を適正に修理できた。民地内に設置された水利の撤去が増えており、協力を求めながら進めていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可					(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																									
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）					<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持		○																											
	低下																													

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策